

令和元年12月27日

担当課：文化振興課  
直通：092-643-3383  
内線：2835  
担当者：龍

## 故・中村哲さんに県民栄誉賞を贈呈

- 福岡県では、12月4日、アフガニスタンで凶弾に倒れ、ご逝去された本県出身の中村哲医師に対し、これまでのご功績を称え、「福岡県県民栄誉賞」を贈呈することとしました。
- 中村医師は、平成5年に福岡県文化賞を贈呈した「ペシャワール会」の現地代表、またPMS（平和医療団・日本）総院長として、長年にわたり医療活動に従事されるとともに、水や生活の糧に着目し、1,600本もの井戸の掘削、本県朝倉市の「山田堰」を応用した用水路の建設などに取り組みられました。16,500ヘクタールもの土地を農地に変え、現地の人々の生活を大きく改善させることにより、現地の多くの方々に親しまれ、同国の復興に貢献されていました。
- 「マグサイサイ賞(\*)」や「アフガニスタン国家勲章」を受賞されるなど、これらの活動は、アフガニスタンはもとより世界各国で高く評価されています。そのご功績は、福岡県民にとって、大きな誇りであり、希望と活力を与えるものであります。
- 贈呈式は、1月25日の「中村哲医師お別れ会」に先立ち、24日に県庁で行います。併せて同日から、中村医師のご功績を広く県民の皆さまに伝える展示を行います。

(\*) マグサイサイ賞：毎年マニラ市のラモン・マグサイサイ賞財団により、アジア地域で社会貢献などに傑出した功績を果たした個人や団体に対して贈呈。「アジアのノーベル賞」とも呼ばれる権威ある賞。

### 1 県民栄誉賞について

広く県民に敬愛され、県民に明るい希望と活力を与える顕著な業績を収め、県民の誇りとなるものに対して「県民栄誉賞」を贈り、その栄誉を称えるもの。

### 2 贈呈式

日時 令和2年1月24日(金) 10:45～  
場所 知事応接室  
出席者 ペシャワール会 村上優会長(代理受領者)  
記念品 博多織タペストリー(中村医師の肖像画)

### 3 展示

展示物 活動写真、映像、著書  
場所 県庁ロビー  
期間 令和2年1月24日(金)～2月7日(金)  
協力 ペシャワール会

(参考)

1 中村哲医師の経歴等

(1) 主な経歴

- ・ 1946 年(昭和 21 年) 福岡県福岡市生まれ  
(福岡県立福岡高等学校卒／九州大学医学部卒)
- ・ 1973 年(昭和 48 年)～ 国内病院勤務
- ・ 1984 年(昭和 59 年) ペシャワール会現地代表就任、パキスタンでの活動開始
- ・ 1989 年(平成元年) アフガニスタンでの活動開始
- ・ 2000 年(平成 12 年) 水源確保事業開始
- ・ 2010 年(平成 22 年) 山田堰をモデルにしたマルワリード用水路完成  
併行して、洪水で壊滅した既存の用水路も改修

(2) 主な受賞歴

- ・ 1993 年(平成 5 年) 福岡県文化賞 (ペシャワール会として)
- ・ 2016 年(平成 28 年) 旭日双光章受賞
- ・ 2018 年(平成 30 年) アフガニスタン国家勲章
- ・ 2019 年(令和元年) アフガニスタン名誉市民権授与
- ・ 2019 年(令和元年) 旭日小綬章受章
- ・ 2019 年(令和元年) 内閣総理大臣感謝状

(3) 主な功績

- ・ 昭和 59 年から 35 年以上にわたり、パキスタン・アフガニスタン地域において、医療活動に従事。(ハンセン病や腸チフス、結核、マラリア等の感染症の治療の傍ら、アフガン難民キャンプや両国での山岳無医村地域での一般診療に従事し、昭和 61 年からはアフガン人医療チームを結成し、本格的にアフガン国内での診療を展開する。)
- ・ さらに、アフガニスタンにおいて、平成 12 年より、今世紀に入って頻発する大干ばつに対処するために井戸の掘削に着手し、飲料用井戸 1,600 本と直径約 5m の灌漑用井戸 13 本を掘削。
- ・ 平成 15 年より、水量の豊富なクナル川の水を利用した農業用水路の建設を開始。江戸時代に完成した本県朝倉市の「山田堰」を応用し、日本伝統の治水技術を用いた、全長 27km のマルワリード用水路を建設。

2 これまでの県民栄誉賞受賞者

- ・ 谷 (田村) 亮子さん (平成 12 年 11 月)  
柔道 48kg 級で、パルセロナ、アトランタオリンピックで銀、シドニーで金メダルを獲得
- ・ 上野 由岐子さん (平成 20 年 10 月)  
ソフトボールの主力投手として、アテネオリンピックで銅、北京で金メダルを獲得
- ・ 王 貞治さん (平成 20 年 11 月)  
福岡ダイエーホークスを率い、3 度のリーグ優勝、2 度の日本一、第 1 回ワールドベースボールクラシックの監督として世界一を獲得
- ・ 浅香山 博之さん (平成 23 年 8 月)  
大相撲史上最多の 1047 勝を達成、その他数々の前人未到の記録を樹立
- ・ 大隅 良典さん (平成 29 年 6 月)  
「オートファジー」に関する研究でノーベル生理学・医学賞を受賞